

令和4年度 第1回理事会議事録

1. 開催日時及び場所

(1)開催日時 令和4年6月6日(月) 14時08分～15時04分

(2)開催場所 山崎理事長自宅

(3)開催形式 web会議システム「Zoom」による開催

<https://us06web.zoom.us/j/89460679342?pwd=RDhXeEsrVlpjVXYxTTdIWVkaVJyUT09>

ミーティングID: 894 6067 9342

パスコード: 202061 (今回1度きりのパスワード)

議長の山崎理事長は開催場所から出席し、当該開催場所に存しない理事及び監事は各自の居場所から上記の web 会議システムにより出席した。

なお、事務局の小定弘和、安田みお は、財団事務所より理事会に参加した。

2. 理事数及び出欠理事数

(1)理事数 10人

(2)出席理事数 9人

(3)欠席理事数 1人

3. 出欠理事の氏名

出席者:山崎直子、遠藤守、稲田伊彦、麻生茂、上垣内茂樹、高田正隆、虎野吉彦、中澤孝、藤島豊久

欠席者:室山哲也

4. 出席監事の氏名

棚橋秀行、富田力夫

5. 事務局の氏名

小定弘和、安田みお(議事録作成)

6. 審議事項

第1号議案 令和3年度事業報告書(案)及び令和3年度収支決算報告書(案)について

7. 報告事項

(1)任期満了に伴う理事の改選について

(2)評議員の交代について

8. 議事の経過及びその結果

事務局小定が zoom ホストとして、web会議システムにアクセスする出席者全員を受入れ、一人ひとりに、音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、相互に十分な議論を行うことができる環境であることを確認した。

(1) 理事会開会宣言

出席理事全員揃ったことを確認し、定款第33条に基づき、山崎理事長が議長となり理事会を宣し、本理事会の議事進行については遠藤専務理事があたり審議に入った。

(2) 出席者と定足数の報告

遠藤専務理事より、定款第34条に規定する定足数を満たしており、本理事会が成立している旨を報告した。

(3) 令和3年度第3回理事会議事録確認

遠藤専務理事より、令和3年度第3回理事会議事録について確認したところ、特に意見等なく承認された。

(4) 審議事項

【第1号議案】 令和3年度事業報告書(案)及び令和3年度収支決算報告書(案)について

事務局 小定より、資料No.1 令和3年度事業報告書(案)について説明を行った。

続いて、事務局安田より、資料No.1 令和3年度収支決算報告書(案)について説明を行った。

遠藤専務理事より、第1号議案について意見を求めたところ、次の意見及び質疑応答があった。

麻生理事より、事業報告書 P3 ⑤活動委員会の活動報告について、「かわらばん」の他記載されていない内容がいくつかあるため、追加するよう指摘があった。

事務局小定より、記載漏れのある活動内容を記載する旨、説明を行った。

棚橋監事より、ゆめ基金の助成金収入が決算に入らずマイナスになったとしても賞与を減らすことはせずをお願いしたい旨、意見があった。

遠藤専務理事より、予算で計上している金額も少ないので、月額給与の2ヵ月は支給できるよう目標にしたい旨、説明を行った。

虎野理事より、指定正味財産 41,884,264 円は、設立当初の寄附者によるものだと思うが、使途制約等の記載がある資料が残っているか、質問があった。

事務局安田より、設立時の資料は保管しており、使途制約等記載されているか確認する旨、説明を行った。

棚橋監事より、監査報告書に基づき、監査の報告を行った。

遠藤専務理事より、第1号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

(5) 報告事項

① 任期満了に伴う理事の改選について

事務局安田より、資料No.2に基づき、任期満了に伴う理事の改選について、現在理事10名のうち、理事の重任9名、辞任1名、となる旨、説明を行った。

また、定時評議員会で承認が得られれば、資料No.2のとおり、9名の役員体制となる旨、説明を行った。

② 評議員の交代について

事務局安田より、資料No.2に基づき、評議員の交代について、評議員1名の交代がある旨、説明を行った。

(6) その他

遠藤専務理事より、本理事会の後に定時評議員会で理事の選任が行われた後、2週間以内に理事の中から理事長と専務理事を互選する必要がある旨、理事会を開催する予定である旨、説明を行った。

理事会の開催方法は前回と同じく書面決議で行うことについて、出席理事、監事全員一致で了承された。

(8) 参考資料

事務局小定より、参考資料No.1に基づき、団員推移表について説明を行った。

上垣内理事より、地域別に増減を見ることはできるか、質問があった。

事務局小定より、分団ごとに推移を見ることができるので、今回はそのような資料も準備する旨、説明を行った。

山崎理事長より、男女比率について質問があった。

事務局小定より、半年前に調査した時は(男性)7対(女性)3の割合であったが、それよりもっと前の時は(男性)6対(女性)4くらいであり、女子団員の割合が減っている状況にある旨、説明を行った。

山崎理事長より、今 STEM 教育の分野でも女性が活躍しているので、女性団員の割合も増えていって欲しいと思う。また、辞めていく団員は年齢が上がっていくにつれ辞めていく団員が一定数いると思うが、それ以外の理由で辞めていく団員がどういったことを望んでいたか等分かると、今後に活かせると思う。このあたりはアンケートを取った結果・分析等追々教えて欲しい旨、意見があった。

事務局小定より、活動委員会を中心に行った若手リーダーの会合時において、当時団員だった女性リーダーが当時の気持ちを教えてくれた内容も参考に、若手リーダーが取りまとめ、提案いただくことになっている。どういった理由で辞めていくという部分は、団員自ら web システム上で退団処理をされる場合、退団理由を選択してもらい機能があるため、把握することは可能である旨、説明を行った。

これに関連し、藤島理事より、苫小牧分団の例でいえば、保護者の転勤も理由の一つに挙げられる旨、説明があった。

麻生理事より、小学校から中学校に上がり、部活を始めるタイミングで辞めていく傾向がある旨、説明があった。

中沢理事より、つくば分団ではコロナ禍でオンライン活動が続き、辞めていく傾向にあった旨、説明があった。

山崎理事長の話(宙女-Sorajo-)を受ける形で、高田理事より発言があり、「ダイバーシティ(DIVERSITY)への取り組みが一般化しており、今後 女性に特化した活動プログラムを検討しては？」との意見があった。山崎理事長もおり、女性に特化した活動プログラムを考えられてはどうか、との意見があった。

遠藤理事より、以上をもって全議案審議を終えたことを述べ、閉会を宣して令和4年度第1理事会は15時04分に閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、議長並びに出席した監事は記名押印する。

以上

令和 4年 6月 6日

(議長)
理事長 山崎 直子 (押印済)

監事 棚橋 秀行 (押印済)

監事 富田 力夫 (押印済)